

議事録

会議名：第29回中四国学生剣道連盟理事会

●日時：2008年8月30日PM1時30分より

●場所：岡山大学 大学会館 2F

●構成員：33名

●参加者：湯村正仁、大森博之、小倉 肇、木谷直俊、森 正典、榊 康守、木原資裕、草間益良夫、山神眞一、石井博貞、境 英俊、竹内善一、香川直己、廣畑栄三、宮本理幸、西田悠作、浅越幸太、山地裕士、岡田尚子、小野瀬朱美、橋本紘樹、池澤勇樹、藤井絵里子、吉原 唯、浅田竜至、寺田翔太、寺谷優香、塩江康之、岡本知子（以下委任状により出席と見做す）矢野宏光、岡田雄太、古家甲斐、北村泰彦以上33名、欠席者：0名

オブザーバーとして、藤原崇郎、村井慎治、近藤裕樹

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。会長の湯村正仁より健康上の理由に議長を副会長の小倉 肇に交代したい旨述べられ、小倉 肇が議長として議事が進められた。

●記録

氏名：橋本紘樹

E-mail：info@tyushi.net（不明点はこちらへ）

●Summary：

議題1：第28回理事会議事録確認

議題2：平成19年度決算ならびに平成21年度予算案

議題3：中四幹事会報告

議題4：全日学連常任理事会報告

議題5：平成20・21年度審判構成について（審判部）

議題6：全日本学生剣道連盟審判講習会並びに新人戦審判講習会について

議題7：次回リーゼミ企画案&平成21年度行事予定

議題8：剣友会の報告

議題9：先輩役員改選（理事を除く）

議題10：その他

1. 第28回理事会議事録確認

第28回理事会議事録を異議なく承認した。

2. 平成19年度決算報告並びに平成21年度予算案

報告者：石井博貞

- (1) 決算書は別紙決算書のとおり報告され、会計監査も問題なしとの報告で、決算報告は承認された。
- (2) 予算案は次回の理事会にて提出することとなる。

3. 幹事会報告

報告者：西田悠作

- (1) 新人戦について要項案が提案され、承認された。
 - ・今年度から男子混成チームを認める。
 - ・男子団体戦を七人戦から五人戦へと変更。
 - ・1大学からの参加チームの上限をなし。混成チームは3校以上も可
- (2) 審判割当案について
 - ・各県の割当人数が承認された。
 - ・五人戦の場合、主審の交替はなし。
 - ・副審判長・小倉先輩案の変更を検討してほしい旨要請された。

4. 全日学連理事会・常任理事会報告

報告者：西田悠作

報告者：草間益良夫、木原資裕

- (1) 全日選手権大会について
 - ・全日本大会において、役員、審判員、選手に大会2日制についてアンケート調査を行った。結果については後日報告。今年度の選手権大会は、1日目女子個人戦、女子東西対抗。2日目男子個人戦、男子東西対抗といった日程で行われた。あと、1年試行期間を踏まえて2日大会をより良いものとするようにする。
- (2) 東西対抗について
 - ・基本的に上級生からの選手選考をすること。しかし、今年度大会において下級生が選考されており、選考の経緯が説明された。試合内容も上級生凌駕するほど優秀であり、推薦した旨地域連盟から説明があり、7月のこの時点での理事会では認めざる得なく、全日では、例外が認められた。中四国でも同じ選考を認めても良いと考えられる。(上級生を原則とする)
 - ・平等的観点から下級生の選考基準を明確にすべきである。

(3) AED について

- ・西日本大会の OB 稽古会において、心肺停止にいたる出来事が起こる。このとき、湯村先輩の指導の下、AED の使用により一命をとりとめる。中四においても、稽古会における不慮の事故にそなえて、AED 講習会実施が提案された。
- ・AED の適応かどうかの判断はやはり医師がすべき。
- ・中四では会場に AED があるかどうかを確認する。AED がある施設は職員が研修を受けていると思われる。

(4) 審判講習会について

- ・審判委員会より、来年度以降からは地域連盟主管の審判講習会については、全日本剣道連盟後援派遣講師による講習会とする。

(5) 「始め」の宣告と同時の打突や変則的な構え等の反則とまでいかない行為（剣道の理合の観点から好ましくない）を監督会議で行わないよう要望する。また、正しくない鏝競り合いは等は審判員のレベルで厳しく判断するよう林委員長から要請された。

(6) 全日本剣道連盟杯について

- ・数年前の選手権大会に全日本剣道連盟杯をとりあげられたが、再度寄贈して頂くよう要請。今年度の試合を考慮して決定するとされていた。そこで 7 月の選手権大会の試合内容が良かったので、全日本剣道連盟会長も前向きに検討するとの報告がされた。

(7) 剣道有功賞について

- ・松山の青野先輩を中四国学生剣道連盟から推薦。

(8) ホームページについて

- ・総務委員会にて検討し、常任理事会で報告する。

5. 平成 20 年度、21 年度の審判構成について（審判部）

報告者：山神眞一

- (1) 全日本学生剣道連盟の方針を踏襲して、審判長は 1 年間を通して固定する。
しかし、都合がつかない場合は代わっていただく場合もある。
- (2) 審判員構成について、理事会で割り当て案を提出し、そこから決定する。

6. 全日本学生剣道連盟主催、審判講習会について

報告者：木原資裕

- (1) 別紙審判講習会開催要項案が提案され、了承された。
- (2) 中四に登録されている審判員に調査を兼ねて、全員お知らせし、参加を呼びかける。
- (3) 12 月 13 日の理事会は 11 時 30 分から昼食をとりながら行う。

7. 次回リーゼミ企画案&平成 21 年度行事予定

報告者：石井博貞

- (1) 平成 21 年 3 月 7～9 日、国立江田島青少年交流の家で開催予定。
- (2) 選手権大会は高松市総合体育館、優勝大会は桃太郎アリーナ、新人戦は広島県立総合体育館で開催予定。

8. 剣友会（全日本大会）報告

報告者：村井慎治

- ・関西より、西日本大会における事故において、湯村先輩及び鳥取大学医学部の学生に感謝の報告がされた。
- ・全国大会の年齢制限が以下の合計年齢とする。
成年 149歳以上、熟年 170歳以上、女子 87歳以上
- ・中四学連剣友剣道大会において、拝見試合を12名の先輩方が参加される予定。

9. 先輩役員改選（理事を除く）

議事進行：榎 康守

- ・以下の通り、推薦が決定した。（任期：平成20年10月1日～平成23年9月30日）
名誉会長 腰山静雄
会長 湯村正仁
副会長 渡邊道德、小倉 肇、藤原崇郎、木原資裕
相談役 植田 一、石原忠美、杉本八郎、五月女武治
顧問 吉田正麿、青木恒男、青野晃治、吉本 貢、橋本健蔵、大森博之、木谷直俊、三浦利雅、杉尾 剛、野間義明、宮近幸逸
常任監査役 近藤裕樹

10. その他

- ・広島大学・島添選手の功労賞について
7月の全日本女子学生剣道選手権大会において、3位入賞した島添選手に中四国学生剣道連盟から功労賞を授与。中四国学生剣道優勝大会開会式にて表彰。

以上の議事を終え、本会は午後15時12分、議長が閉会を宣言して散会した。
上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 20 年 8 月 30 日

中四国学生剣道連盟 第29回理事会

署名人 木原資裕

署名人 橋本紘樹



次回 MTG

日 時：2008年12月13日

場 所：広島県立総合体育館・地下1階・中会議室